

「可能性を信じて」

小学部・中学部副校長 湊 映子

今年度、小学部、中学部を担当します副校長の湊 映子（みなと えいこ）と申します。どうぞよろしく願いいたします。小中学部の皆さんと、そして高等部の皆さんともたくさんお話ししたいと思っています。

さて、私のライフワークの一つにテニスがあります。バルセロナで行われたテニスの国際大会での光景を御紹介したいと思います。選手をエスコートしてくれる子供たちがいます。この大会の2019年の準決勝・決勝では、障害のあるお子さんがエスコートを務めました。超一流の世界ランク上位のプレイヤーと手を繋いで登場します。どのお子さんも、多くの観客の前で緊張しながらもその場を楽しんでいます。そして何より緊張している選手の気持ちを彼らが和らげてくれているのが分かります。試合前の張りつめた雰囲気の中で、選手に笑顔がこぼれ、優しさが垣間見えます。彼らの存在が人を優しくしています。そうした力が彼らにはあるんだな、とこの場面を見て感じました。中野を卒業した生徒が、社会に貢献できる、地域で活躍できることを目指して日々学ぶことと思います。どの子にも社会に貢献できる力があります。子供たちの可能性を信じて、学校にいる間にできることをたくさん増やし、豊かな人生を送れるように保護者・地域・学校と共に支援していければと思います。

「将来に向けた力」

高等部副校長 小川 達夫

今年度、高等部の担当副校長2年目となりました小川達夫です。一昨年度は小・中学部の担当をしておりましたので、高等部の生徒のみならず全校の児童・生徒と日々触れ合いながら学校運営に臨んでいきたいと思っております。改めましてよろしくお願いいたします。

昨年度、高等部の副校長となり一年間生徒の学習の様子を見る中で、改めて高等部の3年間は、卒業後の進路に向けて特に大切な時期であると感じました。生徒の得意なことやできることを最大限発揮できるようにして、実習先を決め、実習を繰り返す行うことで卒業後の進路先が決定します。高等部3年間でも新たなことを学び、将来の生活をより豊かなものにできるようにしていきますが、生活の基礎となる力は、やはり小・中学部で培ってきたものがベースとなります。キャリア教育と言われますが、小学部の段階から自分の気持ちを表現できるようになることや自分でできることを増やしていくこと、安全を意識して日々の生活が送れるようになることなどが大切です。こうした力は、一朝一夕にできるようになるわけではないので、一步一步小さいうちから積み重ねていく必要があります。学校で身に付けた力を御家庭でもできるようになること、その逆もあります。そして誰とでもできる力が本当の力です。まずは御家庭と学校が共通理解をして、指導をすることが大切だと思えます。

今年度も保護者の皆様の御理解・御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。